

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-変 2-工-F-01-0002 改 2
提出年月日	2023年 6月 2日
【凡例】 : 前回ヒアリング資料からの変更箇所	

## 設計及び工事計画変更認可申請書

### V 変更の理由

2023年 6月

東北電力株式会社

## V 変更の理由

## V 変更の理由

- (1) 残留熱除去系 主要弁 (E11-F004A, B) について、弁体の下降を確認したことから、弁体取替を実施する。(残留熱除去設備 (原子炉冷却材圧力バウンダリに係るものに限る。)に係るものの修理 (取替))
- (2) 原子炉冷却材浄化系 主配管 (G31-F022～高圧代替注水系注入配管合流点) (高圧代替注水系注入配管合流点～原子炉冷却材浄化系 A 系注入配管合流点) について、配管の一部を曲げ管から継手 (エルボ) に変更することを、要目表に適切に記載していなかったことから、要目表の記載変更を行う。
- (3) 非常用ガス処理系 主要弁 (T46-F001A, B, T46-F003A, B) について、弁箱厚さが公称値で記載され弁ふた厚さ及び弁ふた材料の記載がなかったことから、他の主要弁と記載の整合を図るため、要目表の弁箱厚さについて、腐食代を考慮した寸法 (設計確認値) へ記載を変更し、弁ふた厚さ及び弁ふた材料を記載する。  
また、基本設計方針の主要設備リストについて当該弁の機器クラスがクラス 4 と記載されていたことからクラス 2 に見直す。
- (4) 原子炉格納容器調気系 主配管 (原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ～ドライウェル出口配管分岐点) について、耐震性強化のため原子炉格納容器調気系の既設配管の一部を厚肉化することを、要目表に適切に記載していなかったことから、要目表の記載変更を行う。また、原子炉格納容器調気系から原子炉格納容器フィルタベント系への分岐点において、JIS B2312(2001) で規定する寸法に適合しない管継手 (以下「JIS 規格外管継手」という。) を採用しており JIS B2312(2001) で規定する寸法に適合する管継手 (以下「JIS 規格管継手」という。) との評価方法の違いから要目表へ管として記載することとしているが、要目表に適切に記載されていないことから要目表の記載の変更を行う。
- (5) 外郭浸水防護設備 (逆止弁付ファンネル) について、弁本体の材料として管材 ( ) を使用することを、要目表に適切に記載していなかったことから、要目表の記載変更を行う。

上記 (1) ～ (5) の変更を反映した内容を参考資料に示す。